

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

転移性前立腺癌に対するアップフロント治療による予後改善効果の解析

【目的】

2018年以降、前立腺がんに対する治療薬としてアンドロゲン除去治療に追加してアピラテロン、エンザルタミド、アパルタミドが保険適応となり、これらを早期から使用することで前立腺がんの予後が改善することが予想されています。2004年から2017年までに治療開始した方と2018年から2021年までに治療開始した方との予後の差を解析することにより、アピラテロン、エンザルタミド、アパルタミドを早期に開始した際の予後改善効果を解析することを目的としています。

【対象】

2004年1月から2021年3月の間に転移性前立腺がんと診断され治療が行われた方

【方法】

診療記録より当院研究担当医師が情報を収集し、Excelの調査票へ入力します。この調査票はパスワードをかけて研究事務局へメールで送付され、保管・解析されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録（年齢、生検日、血液検査所見、転移部位、臨床病期、病理組織診断、治療内容、治療に伴う副作用、転帰等）

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから2026年3月31日まで

【研究代表者】

横浜市立大学附属市民総合医療センター 泌尿器・腎移植科 三好 康秀

【研究事務局】

横浜市立大学附属市民総合医療センター 泌尿器・腎移植科

【共同研究機関】

横浜市立大学附属市民総合医療センター、横須賀共済病院、横浜南共済病院
神奈川県立がんセンター、横浜市立市民病院、国際親善総合病院

【当院の研究責任者】

泌尿器科 太田 純一

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町1番1号
電話 045-316-4580（病院代表） 泌尿器科 太田 純一

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。